

市議会だより

第131号

西尾市議会の新体制が 決まりました。

西尾市議会7月臨時会において議会人事が行われ、議長に石川伸一氏、副議長に永山英人氏
が選出されました。

また、議会選出監査委員には、松井晋一郎氏
の選任が同意されたほか、委員長、副委員長を
はじめとする各委員会の委員も決定しました。



●副議長
永山 英人



●議 長
石川 伸一

【議長、副議長 就任あいさつ】

市民の皆様には、口ごろより、市議会に對しまして、格別のご理解と力強いご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。私たちは、去る7月臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。責任の重さをひしひしと感じるとともに、身の引き締まる思いでございます。

さて、地方分権改革が推進される中、議会および市長の二元代表制を機能させるべく、市民の代表として、執行機関に対するチェック機能や政策提言など、議会が果たす役割はますます重要になっております。

このようなか、平成28年9月に議会改革の取り組みの一環として「西尾市議会基本条例」を制定し、身近で開かれた議会を目指しています。そして、本年6月には「議会が広く市民の意見を聴く機会」として、西尾市議会初となる「一般会議」を開催しました。

本市のさらなる発展と市民の福祉向上の実現のため、これまでの経験を基に適切な議会運営を進めてまいりますので、市民の皆さまには、より一層のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

◎委員長 ○副委員長 敬称略

愛知県後期高齢者医療 広域連合議会議員	西尾市土地開発公社	会派党代表者	広報委員会	政治倫理審査会
石川 伸一	理事 磯部 雅弘 稲垣 一夫 小林 敏秋 神谷 庄二 新家喜志男 牧野 次郎 監事 岡田 隆司	大塚久美子 神谷 雅章 渡辺 信行 前田 修 鈴木 武広 小林 敏秋 神谷 庄二 山田 慶勝 岡田 隆司	◎ 永山 英人 ○ 磯部 雅弘 黒辺 一彦 犬飼 勝博 藤井 基夫 青山 繁 大河内博之 本郷 照代 渡辺 信行 前田 修	◎ 前田 修 ○ 大塚久美子 黒辺 一彦 神谷 雅章 鈴木 武広 小林 敏秋 神谷 庄二 岡田 隆司

議会運営委員会

【所管事項】

議会運営や会議規則、委員会条例
及び議長の諮問などに関する事項

○颯田 栄作
○長谷川敏廣
本郷 照代
神谷 雅章
渡辺 信行
稲垣 一夫

小林 敏秋
山田 慶勝

オブザーバー

大塚久美子
牧野 次郎



●議会選出監査委員
松井晋一郎

企画総務委員会

【所管事項】

企画部、総務部、資産経営戦略局、危機管理局、会計課、
議会事務局、監査委員事務局、消防本部の所管に属す
る事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項



◎中村 真一



○鈴木 正章



石川 伸一



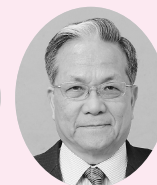
長谷川敏廣



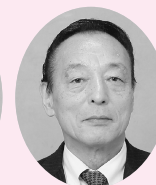
稲垣 正明



鈴木 規子



筒井 登



山田 慶勝

厚生委員会

【所管事項】 健康福祉部、市民病院の所管に属する事項



◎松崎 隆治



○犬飼 勝博



磯部 雅弘



松井晋一郎



永山 英人



鈴木 武広



新家喜志男



牧野 次郎

文教委員会

【所管事項】 子ども部、教育委員会の所管に属する事項



◎本郷 照代



○青山 繁



黒辺 一彦



大河内博之



神谷 雅章



小林 敏秋



岡田 隆司

経済建設委員会

【所管事項】

地域振興部、産業部、環境部、建設部、上下水道
部の所管に属する事項



◎渡辺 信行



○稲垣 一夫



藤井 基夫



大塚久美子



前田 修



颯田 栄作



神谷 庄二

広報委員会の新メンバーです。



6月議会では、人事案件、補正予算などを審議。 7月臨時会では、人事案件を審議。そして議会人事が行われました。

6月議会を6月7日から27日まで21日間の会期で開催し、人事案件、条例の改正、市道路線の認定、補正予算など諮問1件、議案7件、補正予算1件及び陳情7件を審議しました。

6月8日、11日、12日には、17人の議員が市政について一般質問を行いました。主な内容は、次のとおりです。

7月17日には7月臨時会を開催し、人事案件を審議。また、議会人事も行われ、市議会の新体制が決定しました。

問 契約内容等の検証で指摘した事項

答 建設や改修の取りやめによる事業費の削減となるが、具体的な金額の試算はできていない。財政効果は現契約金額を上回ることがないよう縮小する。

問 見直しによる削減額、規模縮小の目標、効果はどのようか。

答 8月まで週1回を原則に交渉日程の合意ができていく。見直し方針による業務要求水準書の変更案等をSPCに通知し協議を求めていく。

問 SPCとの協議の進捗状況はどのようか。

答 8月まで週1回を原則に交渉日程の合意ができていく。見直し方針による業務要求水準書の変更案等をSPCに通知し協議を求めていく。

問 見直し事業のスケジュールはどのようか。

答 吉良市民交流センター支所棟は見直し案の取りまとめを急いでおり、まとまり次第SPCに提示し協議を行う。アリーナ棟はどのような機能を持たせるか検討を進める。旧一色支所の本庁舎は一色地区住民の意向を反映させたい。その他の施設はSPCに見直し内容を提示し、合意できるよう協議を進める。

PFI事業見直しの取り組み



市民クラブ
渡辺 信行



個別外部監査の実施内容

問 28年度の制度化以降に実施している事業と監査結果はどのようか。

答 公共施設再配置事業で28年度は5業務、29年度は11業務を実施している。28年度は1件の指摘事項と3件の意見、29年度は1件の指摘事項と5件の意見が出された。全て適切に対処している。

地域学校協働活動の推進

問 地域との連携による諸活動の実績はどのようか。

答 まち探検や校区の自然、防災を題材にした学習で地域の方を講師として学びを深めた。また、運動会や祭りなど校区の行事で学びの成果の発表、ボランティア活動の参加にて推進している。

問 社会に開かれた教育課程の実現を目指すため今後の取り組みはどのようか。

答 授業や行事等におけるまちの先生や本の読み聞かせ、学校環境整備ボランティアの拡充、自主防災活動の共同実施、祭りや地域行事への参加・協力など考えられる。学校や地域に合った持続可能な形を研究する。



至誠クラブ
磯部 雅弘



消防団活動の重要性は

問 団員の確保に対する取り組みは。
答 消防団活動を紹介するイラストを印刷したクリアファイルを作成し、各種イベントなどで配布を予定。知っていただくことと魅力、必要性を訴える。

問 市長として団員確保への考えは。
答 抜本的な方策はないが、今までの各種施策を継続し、消防団のイメージアップに努める。

学校給食のこれから

問 新学校給食センターの建設予定地、調理対象校、調理可能食数とスケジュールは。
答 須脇町地内で、旧幡豆郡の佐久島を除く小中学校14校を予定している。児童・生徒・職員などで約5千食、隣接地に建設予定の県立特別支援学校分で約600食、万が一の事態に対応するための食を含めて約7千食を考えている。本年度に基本設計をし、2021年9月に開設予定である。

問 食物アレルギーへの対応は。
答 食物アレルギー専用室を設けて、特定原材料27品目の除去を行う計画である。

ある。

問 新学校給食センターの建設により現在の一色、吉良、幡豆の学校給食センターはどうなるのか。
答 一色、幡豆の学校給食センターについては解体し、吉良の学校給食センターを改修し、公立幼稚園と旧幡豆郡内の保育園の乳幼児専用の給食センターとして活用していく。

問 給食費の見直しを実施せず、おいしい満足いく給食を維持できるか。
答 給食の質の低下を招く恐れがある場合には検討する。

問 佐久島における増加する観光客への取り組みは。
答 レンタサイクルに係る取り組みについて、観光客のマナー対策は。

佐久島における増加する観光客への取り組み

問 レンタサイクルに係る取り組みについて、観光客のマナー対策は。
答 集落入口の駐輪場の整備や徒歩での散策を促す看板の設置、貸出時に駐輪場のマップを配布して集落内は徒歩で散策するよう対策している。市の発行しているマップも同様。

問 佐久島の特産品やお土産の開発は。
答 島内で栽培するサツマイモの品種を「紅はるか」とし、酒造メーカーの協力により、サツマイモを原料とした芋焼酎の商品化に取り組んでいる。また、島民と協力してサツマイモを使ったお土産の開発もしている。



市民クラブ
稲垣 一夫



安全なまちづくりは

問 矢崎川耐震工事の進捗状況および今年度の工事予定は。
答 矢崎川は、「第3次あいち地震対策アクションプラン」に位置づけられており、約3・2キロメートルのうち、360メートルが完了している。今年度の工事は、平成29年度繰越分を含めて約130メートルの施工を予定している。

問 降雨時、広田川と矢作古川との水位がかなり違う。今後、河川推移の見直しをすべきと思うがどのように考えるか。
答 矢作古川は分派施設の完成により、矢作川からの流入量が降雨時でも毎秒200立方メートルに制限されている。広田川は、須美川などの支川からの流入があるため、降雨時には一時的に水位が上昇している。広田川は、河道改修や洪水調整機能をもたせるため、菱池遊水池を計画するなどの洪水対策を進めている。

問 津波避難施設の建設を海岸部に予定しているが、予定地および規模ほどの程度か。
答 津波避難施設については、一色東

部小学校区と吉田小学校区の津波避難施設のためのワークショップを立ち上げ検討している。ワークショップの進め方は、健常者と要配慮者の避難行動についてそれぞれ考えており、津波避難施設の必要な地区について、具体的に場所や規模などを考えていく。

西尾城二之丸跡整備は

問 西尾城の整備をどのように計画し、実施するか。
答 西尾城二之丸は、江戸時代には天守や御殿があり、実質的な西尾城の中心であった。まずは、歴史公園に櫓や土塀を復元することで、江戸時代の西尾城の姿に近くなり、市民が誇れるシンボルになるとともに、歴史を学ぶ場所や観光拠点として多くの観光客を誘客することが期待できる。

問 西尾城二之丸寅櫓などを復元することだが、復元の根拠となる史料はあるか。
答 西尾城は、明治時代の初期に取り崩され、当時の写真は残っていない。しかし、建物の高さや寸法を記した「西尾城郭覚書」や江戸時代に幕府に提出した絵図がある。それらの資料とともに、城郭建築研究の第一人者である、三浦正幸広島大学大学院教授に復元考察を依頼した。その結果、現存する史料に基づいて史実に最も近いと思われる形で、木造で復元する計画である。



公明党西尾市議員
大塚久美子



子育てにやさしいまちづくり

問 子育て世代が必要なときに、どこにいても子育てに関する情報を収集することができ、また子どもの月齢等に応じた予防接種情報やイベント情報などを、タイムリーに配信できるアプリサービスを導入しないか。

答 公的導入は考えていない。

問 子育て世代が会議等に積極的に参加できる取り組みとして、庁舎管理の一環で庁舎内会議等の託児を実施しないか。

答 今後、関係部局と調整を行い、市としての託児実施方針を検討する必要があると考える。

問 民間施設に協力を得て、地域ぐるみで子育てにやさしいまちづくりを推進するため、授乳・おむつ替えスペースを提供する「赤ちゃんの駅」の普及に取り組まないか。

答 市が率先して、子育て世代が利用しやすい公共空間を整えることは、安心して子どもを産み育てられるまちづくりに不可欠である。積極的に民間にも働きかけながら、まち全体で機運を盛り上げていきたい。

ロタウイルスワクチンの費用助成

問 ロタウイルス感染症を抑制していくためには、ワクチン接種の費用助成とロタウイルス感染症に関する周知が不可欠であると考えが見解はどうか。

答 現時点ではワクチン接種の費用助成は考えていないが、集団接種による安全性が確認でき次第、実施していく方向で予定している。

名鉄西尾・蒲郡線の存続を

問 平成33年度以降の運行についての協議の前までには、鉄道の運行方式について基礎資料を作成する旨の答弁を得ているが、現在の状況はどうか。

答 今年度中をめどに基礎資料の取りまとめを進め、実際に運行方式を決定する平成31年度末までには国、県とも連携の上、蒲郡市との調整を済ませ、協議のできる体制を整える。

市民の生命と財産を守る防災対策

問 戸別にアンケート調査を行い、戸別受信機が聞こえない地域を把握し、早急な対応をしないか。

答 平成31年度に防災行政無線のデジタル化を実施する予定であり、屋外子局の増設や情報伝達体制の強化を図る。



市民クラブ
本郷 昭代



共に生きる社会をめざして

問 発達障害児への支援策は。

答 乳幼児健診で対象児童を把握し、専門職による相談や専門機関などを紹介するとともに、市の療育センター『ポッポ教室』につないでいる。教室では日常生活能力と社会性を養うことや、より良い親子の関わりを働きかけるとともに、進路相談などの支援をしている。児童発達支援センターでは相談支援を基本に、障害福祉サービスの情報提供や利用計画を作成し、適切な支援につなげるとともに『白ばら園』で就学前児童の発達支援を行うなど、障害児の個別の状況に応じて継続的な支援を実施している。

問 主に知的・精神などの障害福祉サービス分野で農業の活用状況は。

答 コトヨウランの生産や販売を行なっている事業所がある。また、訓練の環境で畑での野菜の栽培や依頼を受けて除草作業を行っている場合もある。

適正な文書管理を

問 合併に伴う旧幡豆郡の文書の散逸を防ぐべく、一元的に保存された文書は、どう管理を進めてきたか。

答 所属単位で文書目録を作成し、主に一色・吉良・幡豆の各支所で保管してきた。現在も保存期間が到来していない10年保存の文書のうち、旧一色町分は消防署一色分署で、旧吉良町・幡豆町は各支所で引き続き保管している。30年保存の文書については、平成28年度に幡豆支所3階の旧議場に書庫を設置し、昨年12月までに文書の移動を終え、一括管理している。

問 歴史的価値が見込まれる公文書を適切に保存するための体制をどう備えているか。

答 文書取扱規定に基づき、廃棄対象となる公文書を毎年文化振興課に通知し、同課が市史資料として必要と認められたものは廃棄作業前に引き渡している。

西尾保護区協力雇用主会について

問 平成28年10月に設立された会の役割は。

答 犯罪・非行の前歴のため定職に付くことが容易でない人の事情を理解した上で雇用し、更生に協力する民間の事業主で構成する任意団体で、市が更生保護活動を行っていく上で大変重要な役割を担っている。

問 構成企業に対し、公共工事入札における加点制度を導入しないか。

答 協力雇用主が入札に参加しやすくなるような加点項目の創設を検討していく。



市民クラブ
松井晋一郎



学校教育環境の充実を

問 屋内トイレ改修の進捗状況はどのようか。また、屋外トイレ改修、教室等へのエアコン設置への考えはどうか。
答 屋内トイレ改修の進捗率は65・2%、今年度末に78・6%となる予定。屋外トイレ改修については、屋内トイレ改修の完了後に進めていく。エアコン設置については、現在、扇風機の設置を進めており財政面を考慮し検討する。

問 より良い教育環境の実現のために、柔軟な支援が期待できるスクールソーシャルワーカーなど、専門員の配置を検討しないか。
答 既に配置している県内の自治体教育委員会から、人材の確保や必要な予算に関する情報を集め検討する。

基幹型地域包括支援センターの設置は

問 地域包括支援センター間の総合調整及び連携強化を図り、地域高齢者福祉の向上を図る目的で基幹型センターを設置するのであれば、責任主体である市役所内に設置することが望ましい

と考えるがどうか。

答 地域包括支援センター運営業務における豊富なキャリアを積み、権利擁護などのノウハウをあわせ持つ人材が活躍できるように、市役所内での設置方法を調査検討していく。

問 基幹型地域包括支援センターは、専門知識のある民間の協力が不可欠。円滑な協議体制の構築が必要と考えるが見解は。
答 今後、体制整備を進めていく。

命山・津波一時避難施設広域的な防災活動拠点整備等を

問 地域の声を聞きながら、必要な数の命山・津波一時避難施設の設置を検討すべきではないか。
答 健康者は浸水区域外に避難し、体の不自由な方などは一時待避所に避難するという原則を踏まえて検討する。

問 一色・吉良地区に一基ずつ津波避難施設を整備したら完了との認識か。
答 可能な限り整備していきたい。一基ずつ整備したら完了とは考えていない。

問 中長期的な整備計画を行う考えはないか。
答 必要があれば複数年かけて整備することになると考えている。

問 安全・安心・快適に暮らせるまちづくりに向けて



市民クラブ
犬飼 勝博



安全・安心・快適に暮らせるまちづくりに向けて

問 旧西尾市と旧幡豆郡3町で不燃ごみの分別方法が異なっているが、どちらの収集方法に統一すべきと考えているか。また、統一の時期はどのようか。
答 旧幡豆郡3町のコンテナ方式が望ましい。旧西尾地区の市民のご理解やコンテナ設置場所など解決すべき問題もある。課題や原因を精査して、できるだけ早い時期での統一を目指していく。

問 利便性の高い交通ネットワークを実現するため、他の公共交通機関と連携した見直しをする必要があると考えるが、どのようか。
答 市境周辺の地域を中心に、近隣市への移動ニーズがあることは承知している。市域にこだわるのではなく、日常生活圏に応じた移動手段が確保できるように、近隣市との連携を検討していく。

問 子どもたちの命を守る犯罪抑止の観点から、防犯カメラを学校への優先的な設置が必要と考えるが、設置状況と今後の計画はどのようか。



問 公契約条例の制定に向けて

答 昨年度末現在で26小学校中11校に15台、10中学校中2校に2台設置。今年度は、西尾小・米津小・一色中に設置の予定をしており、今後も引き続き計画的に設置を進めていく。

公契約条例の制定に向けて

問 条例の制定に向け、意見の偏りを生じさせないために、「公契約条例検討協議会」等を立ち上げて進めるべきと考えるが、どのようか。
答 公契約条例検討協議会をどのような形にしていくなか、現在は未定だが、働く立場の方々の意見をお聞きすることは、重要であると認識している。条例案作成の段階で、意見を聞く機会を設けていきたいと考えている。

次世代交通システムの実用化へ

問 自動運転技術は、貴重な命を救える可能性のある機能を可能な限り普及させることに重点を置いており、現在日本の各地で公道実験が行われている。自動運転の実証実験などに対する市の考え方は、どのようか。
答 自動運転には新事業・新ビジネスモデルの創出などによる企業の誘致や公共交通の空白地帯の解消、交通事故ゼロの世界の実現など、多くの可能性を期待しており、あいち自動運転推進コンソーシアムを通じて、本市での実証実験の実施を模索していきたい。現在、実施事業者を募集・選定中であり、今後の展開に期待している。

問 自動運転技術は、貴重な命を救える可能性のある機能を可能な限り普及させることに重点を置いており、現在日本の各地で公道実験が行われている。自動運転の実証実験などに対する市の考え方は、どのようか。
答 自動運転には新事業・新ビジネスモデルの創出などによる企業の誘致や公共交通の空白地帯の解消、交通事故ゼロの世界の実現など、多くの可能性を期待しており、あいち自動運転推進コンソーシアムを通じて、本市での実証実験の実施を模索していきたい。現在、実施事業者を募集・選定中であり、今後の展開に期待している。



公明党西尾市議員
大河内博之



矢田小学校の児童数増による影響は

問 矢田小学校の今後の施設の整備計画とスケジュールはどのようなか。

答 今後の施設の整備計画は、老朽化が著しい学校プールを廃止し、その跡地と昨年取得した体育館南の隣接地に新校舎の増設を計画している。

今後のスケジュールは、矢田小学校プールを廃止するにあたり、民間プール利用への移行協議を進め、教室不足が生じる2020年度までには、プールの解体や新校舎の増設を完了する予定である。

問 矢田小学校のプールを使用してきた矢田保育園の園児への対応策はどのようなか。

答 他園でも使用しているFRP製の組み立て式プールの設置を検討している。

問 教室の不足数は特別教室も含めどのように把握しているか。

答 2022年度にはピークを迎え、42教室が必要となり、現在よりも普通教室は、少なくとも7教室、特別教室は、教室が必要になると考えている。

問 児童クラブの増築の具体的な場所、規模、利用開始時期はどのようなか。

答 矢田小学校近隣に、およそ150人規模のクラブ室を建設し、平成31年3月には利用開始したいと考えている。

問 西尾市における児童クラブの夏休み期間の保育料は、西三河の中で一番高いが、保育料を下げる検討をしないか。

答 西三河地区の市町の動向も再確認し、保育料減額の必要性等と単月(8月)と年間を加味して検討していく。

問 給食室を他の場所へ建設する考えはないか。

答 現在の給食室の2倍程度の広さが必要となり、敷地的な制約がある。現時点では、給食室内の食器スペースの確保や、厨房機器の見直しなどにより、ピーク時にも対応できる可能性がある。ピーク時にも対応できるように、給食室を使用していくことを考えている。

問 職員室への影響はどのようなか。

答 引き続き学校現場と話し合いを進め、対応を考えていく。

問 矢田小の施設整備について市長の考えはどのようなか。

答 教育施設は人づくりで重要であるので、子どもたちに支障が出ないように学校関係者や地域の皆さんとしっかり対話をしながら進めていきたい。



市民クラブ
青山 繁



西尾市民病院の現状と将来

問 西尾市民病院の役割と現状に関する認識はどのようなか。

答 市民17万人の命を守る地域の中核病院として、年間4千台を超える救急車を受け入れている。経営状況は18年連続赤字となり、市からの支援は不可欠な状況。



問 将来の西尾市民病院のあり方をどのように考えているか。

答 回復期機能への特化や、指定管理者制度への移行、民間移譲などが想定されるが、現時点では、碧南市民病院との経営統合を最良の案と判断した。

問 「碧南市民病院との統合が最良」との判断だが、その理由はどのようなか。

答 医師不足問題が統合により解消できる可能性が高く、公立病院の存在意義を保ち、この地域の医療を守るという点で、他の案に優ると判断した。

問 碧南市からの回答内容にもよるが、検討委員会のメンバーや検討内容、検討スケジュールはどのようなか。

答 検討委員会の委員は、各種団体から参画していただき、概ね15人程度で、

同委員会の答申や、市政世論調査等の結果を踏まえ、年度末までに方向性を出していく予定。

志貴野地区の矢作古川分派施設と河川防災ステーション

問 矢作古川分派施設の完成に伴い、矢作川本川への負担が大きくなっているが、本川の治水安全度をどのように考えているか。

答 東海豪雨規模の洪水が発生した場合においても、洪水を安全に流下させることができるものと考えている。

問 河川防災ステーションの役割、整備スケジュールはどのようなか。

答 資材の備蓄や資材搬出入など、緊急復旧を行う基地として、平成32年の出水期までの完成を目指す。

問 平常時の利用計画はどのようなか。

答 水防団等の会議や訓練、市民のための講座等の開催、水防意識に着目したパネル展示など、防災学習の拠点となる施設利用を検討していく。

人生バラ色郵便ポスト(仮称)

問 西尾市の花「ばら」にちなみ、バラ色郵便ポストの設置が計画されているようだが、どのような内容か。

答 丸型郵便ポスト愛好家の団体からバラ柄のポストを市役所の敷地内に設置して市のPRに役立てていただきたいとの話があり、検討したい。



至誠クラブ
黒辺 一彦



ダイバーシティの推進、不登校・ひきこもりの支援を

問 ダイバーシティについて市の考え方はどのようなか。

答 人材の様々な違いを受け入れ積極的に活かすこと（ダイバーシティ）で雇用環境や多様化するニーズに対応するために重要と考える。ハローワークとは違った切り口で若年層の就労相談などを実施していく。中小零細企業にも人材の多様性を受け入れることでもたらされる効果を理解していただけるようサポートしていく。

問 市内小・中学校の不登校、ひきこもりへの支援はどのようなか。

答 現在の不登校児童、生徒数は小学校90人（約1万人中）、中学校では185人（約5千人中）。あゆみ学級、チャレンجزの制度を活用して支援をしている。

問 民間フリースクールの活用、卒業後の継続的な支援体制はどのようなか。

答 現在はフリースクールの出席を学校の出席にする制度は考えていない。また、卒業後の進路先などへの情報提供は行っていない。

問 義務教育終了後のひきこもりの方への支援はどのようなか、民間の力を活用しないか。

答 基本的に県管轄の保健所が対応している。市は生活困窮者世帯に対して支援を行っている。民間の活用については、NPOに委託している部分もあるが、市として今後、情報共有できる仕組みづくりをしていきたい。

「伝わる」広報にするための取り組み

問 現状の広報活動の課題はどのようなか。今後、工夫を考えているか。

答 幅広い世代に市政に対して関心を持ってもらえるようにすることが課題と考える。広報にしておもしろ味を持ってもらえるよう、動画を組み合わせるAR技術を導入した紙面構成などを検討している。合わせて町内会の負担軽減のために発行回数を見直しも検討する。



問 ケーブルTVなどメディアを活用して戦略的な広報にしたいか。

答 現在はプレスリリースを行い、ニュース内で取り上げてもらっている。番組製作などは、周辺市との兼ね合いもあり難しいと考える。今後も戦略的に広報活動を行っていききたい。



市民クラブ
永山 英人



市道の環境美化は

問 西尾東部地区や旧郡部の市道では草が勢いよく伸び、風雨で土砂がたまるところは株化し、しっかり根付いているため、観光をPRする西尾市の光景ではないと考えるか。

答 その都度対処しているが維持管理費にも限りがあり、各町内会で清掃等の協力をお願いするなど道路美化に努めていきたい。

問 市道の清掃や維持管理体制、道路パトロールの職員数と勤務内容はどうか。

答 主要な幹線道路は業者と年間委託契約で、年に2回程度の路面清掃をしている。市域全体の市道の補修業務も委託契約で道路パトロールや市民からの通報による穴埋めなどに対処している。担当職員は緊急通報があった場合でも、対処できる体制を整えている。道路パトロールは2人で週2回行っている。職員で対処できない場合は、業者に連絡し、補修依頼をしている。

問 市道をもっときれいにするための方策を考えないか。

答 行政だけでは限りがある。町内会とも協力しながら市民協働の考えを浸透させていきたい。

雨水貯留浸透施設は

問 雨水の利用の推進に関する法律における国の基本方針を受け、西尾市の具体的な進め方はどのようなか。

答 市役所本庁舎は、雨水貯留機能を有しており、雨水を水洗便所の流し水等を利用して水資源の有効活用と雨水流出抑制を図っている。市民に向けた総合的な治水対策の一環で雨水の流出抑制および雨水の有効活用を図るため、西尾市雨水貯留浸透施設設置奨励補助金で雨水貯留を進め環境の保全に努め、良好な水循環を図っている。

問 雨水貯留浸透施設設置奨励補助金は、利用者別の現在の設置実績は。

答 補助金の利用者は、平成17年に施行されて昨年度までの13年間で425件、過去3年間は、27年度は浄化槽の転用16件、市販雨水貯留槽15件、雨水浸透施設4件の35件。28年度は6件、13件、3件の計22件。29年度は8件、7件、2件の計17件。この制度は個人宅の申請が多く、合併後の23年度からは企業や事業者等からの申請はない。

問 どのような効果が期待され、どの程度の量を一旦貯留できるか。

答 雨水の流出を抑制し浸水被害を緩和させ、水資源の確保が図られる。平均年間申込数の32件から計算すると年間約40立方分の貯留量が増えていくと予想される。



日本共産党西尾市議員
前田 修



介護保険外しの総合事業は

問 介護保険の要支援1、2の方のヘルプサービスとデイサービスを保険給付から外し、総合支援事業の「緩和型」に移行した。その際、介護認定を受けずに、介護保険利用の適否を判断することとしたが、窓口での対応はどうか。

答 要介護認定に該当しそうな人には、申請を促している。

問 緩和型サービスは利用者も事業所も困っていると思うが、事業所の意見はどのようか。

答 「職員・担い手を増やしたい」「現在の提供サービスを充実させたい」などの意見がある。

問 介護認定者への外出支援のため、タクシー助成制度を拡充しないか。

答 今のところ考えていない。

3町の大規模給食センターは

問 給食検討委員会では、大きなセンターを作るよりも単独校方式の方が子どもにとって良い」などの発言があいづいでいた。関係者の意見を聞かずにセンター化をすすめたのではないか。

答 検討委員会では、そういう意見も

あったが、他の協議会でも検討しており問題があったとは考えてない。

問 大規模なセンターにすることのデメリットはどう考えているか。

答 食中毒が発生した場合、被害の影響が大きい。一時的に多くの配送が必要となる。

問 センター方式は、ロッケ、てんぷら、フライなどレトルトとなる。さらに調理時間が短くなる問題はどうか。

答 今回の計画は、保育園などの配慮もしており、一般論としての方式の違いだけの観点ではない。

学校教室にエアコンを

問 教室内でも熱中症がおこる昨今の事態を受け、文科省は50年ぶりに最高温度の基準を28度に改定した。市内の学校の夏の温度はどうか。

答 昨年、米津小学校で29度だった。

問 エアコン設置が急増し、全国で5割、愛知で3割、西三河でも、多くの自治体が設置の方向である。西尾市も計画しないか。

答 設置した場合の試算をする。老朽化対策も急務であり、試算の結果も関係者に示し考えたい。

エアコン設置状況

西尾	ナシ
刈谷	今年度設置
みよし	設置完了
豊田	設置設計中
安城	設置中
岡崎	設置中



至誠クラブ
神谷 雅章



「変わらなきや西尾市」

問 変わらなきやいけないことは何か。

答 職員が現場に足を運び、地域の声に対して耳を傾け、前向きな姿勢で対話をする中で一つの結論を導くこと。

問 「市民協議会はどのように行うのか。意見は施策に反映するのか。

答 広く市民の意見を聞く機会を設け、意見は今後の市政運営の参考にしている。

問 17万都市から20万都市を目指した施策を検討できないか。

答 全市をあげて積極的に施策展開を行い、夢の目標に取り組みたい。

「公共施設再配置の見直し」による今後のまちづくり

問 「吉良町公民館」全面的に活動拠点が確保できなければ耐震補強をしたうえで利用すべきではないか。

答 利用者の活動拠点が確保できるよう調整中。市民の意見を伺い検討する。

問 須脇町地内に給食センターを建設するなら福地地区3校もセンター方式にするべきではないか。センター方式

にした場合、どのぐらいの経費削減になるか。

答 2020年度までの学校施設の個別施設計画策定の中で検討する。年間1200万円程度の経費削減となる。

都市計画道路の見直しと道路整備

問 昭和の時代からの計画路線となっている道路の見直しはどのようか。

答 廃止を含めて見直す。

問 東西からの産業の発展を見据え音羽蒲郡インター・名豊道路蒲郡インターと中部国際空港を直接つなげるインフラ整備を近隣市町と検討できないか。

答 名浜道路計画も踏まえ検討する。

10万人来訪者で賑わう佐久島の今後のまちづくり

問 近年、若者の来訪者も多いが、若者の定住化・雇用の確保のための施策を検討できないか。

答 移住しやすい環境づくり、新たな産業を創出し雇用の場の確保をする。

問 船舶更新時に吉田港の新設や造船などを検討しないか。

答 観光客数・定住者数などの動向を見ながら新設・造船等も今後検討する。



無所属
鈴木 規子



市長公約「事業の棚卸し」
進め方は？

問 市長は、政策目標「事業の棚卸し」を行うというが、どう進めるのか。

答 事務事業4千〜6千の全量を把握し妥当性・有効性・効率性をチェック。廃止・縮小でスリム化する。来年の予算に反映できるようにしたい。

問 町内会要望の道路改修等では例年6億円超の予算、29年度は6億6千万円が投入されているが、要望と実施の状況はどうか。

答 道路側溝関係では29年は663件で約5割を実施。建設部担当のしゅんせつや草刈りの要望は、29年217件で7割を実施しており、緊急の工事を29年は339件。複数年にわたるものは2〜3年で完了している。上下水道部では、29年は117件で約7割を実施した。水利組合所管の水路の改修やしゅんせつは29年は70件だが、実施できただろうか把握できていない。

問 カーブミラーやラインの引き直しなど交通安全面ではどうか。

答 28年319件、29年度は350件。そのうち警察には28年122件、29年

は136件をお願いしている。

問 要望してもなかなか片付かないとの不満も聞く。「現状を把握し、住民の満足度を上げる（棚卸し）」の意味で、町内会に要望結果を回答してはどうか。同時に、工事の際の平米単価などの費用も周知して理解を求めてはどうか。

答 今後は、各町内会に回答するように検討したい。限られた予算内での実施をわかっていただくよう努力したい。

問 西尾駅近くの高島町内の市所有地には20年以上経つ空き家が複数あるが老朽化も激しい。適正管理の意味から早々に撤去を図るべきではないか。

答 建物の所有者には期限を切って、撤去をお願いしていく。

PFIの外部監査の指摘はどうか

問 個別外部監査では吉良支所棟の実施設計について監査したのか。実施設計はSPCからいつ提出されたのか。市が承認したのはいつか。

答 監査で、「承認行為の根拠条文は複数の条文を見極めて不明確のないように」と指摘を受けた。実施設計提出は29年4月24日で、市承認は5月12日。

問 ゴールデンウィークを挟んだ短い期間だが十分なチェック、市民団体の意見聴取などは出来たのか。

答 29年2月までの工期予定だったため。意見の聴取はできなかった。



日本共産党
牧野 次郎



市内にあるこそ市民に役立つ
市民病院の改革を

問 碧南市との市民病院統合についての協議申し入れに対し、碧南市からの回答が「碧南市内での建設」を前提とされても協議を進めるのか。

答 妥協点を見いだせなくても、統合以外の課題で、双方の病院の経営改善につながることであれば、連携協議を考えている。

問 「碧南地域での新病院建設」は、西尾市民の意向とは相容れないものではないか。

答 市民病院の経営状況など理解していただいたうえで、市民病院中期計画等評価委員会や、市民世論調査、医師会等のアンケートで意見を聞き判断していきたい。

問 西尾の医療構想計画を考えないか。

答 計画はないが、医療圏の中で、あり方を考えていくべきと思う。

常習する浸水地域の解消を

問 市内の浸水常習地域の状況と対策はどうか。

答 河川改修には、時間と費用がかか

るので緊急に必要な減災対策を行っている。今年度は亀沢町地域で側溝断面を大きくするなどの対策を講じていく。二の沢川の改修では、宮東橋の架け替えに向け、現在、上流部の用地買収の話し合いに努力している。

平坂地域は排水区とポンプ場の位置を見直し、国の補助金を受けてポンプ場を整備する準備を進めていく。調整池の整備も検討し、実効性のある緩和策を考える。

福祉のまちづくりを

問 介護の人材確保の充実策はどうか。

答 県の、多様な人材の参入促進、資質の向上、労働環境・処遇の改善の県補助事業や人材育成事業の積極的活用とともに、介護事業所と連携し、有効な人材確保策を研究していく。

問 要介護者の税負担が軽減されるように、障害認定書の発行を。

答 国基準で判断しており、すべての要介護認定者を対象とすることは考えていない。

問 西尾市の就学援助の所得認定基準が厳しく、他市より遅れているが、見直しを行わないか。

答 就学援助の認定基準となる所得基準は拡大する方向で検討する。どの程度の拡大をするか、近隣の状況も踏まえて進め、早期に実施できるように、今年度中に結論を出す。



市民クラブ
楓田 栄作



公共施設再配置の理念に逆行する「PFI事業の凍結・見直し方針」

問 見直し方針は、対象施設の関係課や再配置担当課と調整、協議して作成したか。また、代理人弁護士や再配置の専門家や有識者は作成に携わったか。

答 対象施設の関係課にヒヤリングを行うなどの調整および協議をしている。代理人弁護士をはじめ専門家や有識者からのアドバイスをいただいているが、作成には直接携わっていない。

問 専門家が携わず作成されているが、市長はそれだよいと考えているのか。

答 市民のご意見、公共施設再配置基本計画の基本理念にのっとり、市民が納得のいく見直し方針を作成した。

問 公共施設のコスト検証をしないままにPFI事業の見直し方針を作成したが、負担が多くなるのかどうかかわらないため、市民には見直し方針の是非が判断できないが。

答 見直しの過程では市民のニーズの検証も行い、その結果を公表し反映させている。主に市民から見直しを求められている事業について判断を行い、

いくつかの施設は建設しないことにした。方針公表後、説明会も含めて概ねご理解いただいている。

問 「最大公約数的に市民の意見を反映させることを第一に考えた上で見直し方針を作成した」と言っていたが、どの程度の範囲か。

答 意見交換会を4回開催し794人懇談会は4団体で88人の参加。3千人を対象にした市民アンケートを実施し、広く意見を聞いている。主に市民から見直しを求められている事業は担当課の意見を参考にした上で、公共施設再配置基本計画の理念および方針との整合性を踏まえ見直し方針を決定した。

問 市民がSPCと直接、見直し方針について対話した方が、行政と対話するよりも良いアイデアが生まれるという理由から、SPCとの対話を熱望する意見が出ていたが、実現していくつもりか。

答 現在のSPCとの契約では、市民が直接SPCとの対話をする契約とはなっていない。対話する機会の設定は考えていない。

問 SPCから莫大な損害賠償金を請求されたとき、責任を取る覚悟は。

答 私は、この見直し方針というのが最善策だと思っている。実行できるようにSPC側に真摯に働きかけていく。



無所属
中村 眞一



見通しが全くたたないPFI事業

問 PFI事業検証報告・見直し方針を公表後、どのように協議を進めたか。

答 6月中にSPCに提出する作業を進めており、協議はこの後である。

協議も議事録も公開しない

問 市とSPCの言い分が異なり、協議の真実が見えない。企業は公開しても良いと言っているが、協議を公開しないか。また、議事録を公開しないか。

答 公開は、考えていない。

公表しない見直し案

問 見直し方針の根拠と効果の見込みを公表しないか。

答 根拠はホームページで公表している。見込みは数値化していない。

なんにも検証していない検証室

問 これまで市民や議員から提案のあったことを検証しているか。

答 していない。

なんにも残らずに何十億が消える

問 損害賠償金は50億円程と聞けが、市は担当者が「20億円程」と言っているが、20億円にしても税金で払うことを、市長は承知しているか。

答 職員が言っていることは知らない。損害賠償金の算出はしていない。

見直し後のコスト計算はしない

問 コスト検証を行わない見直しは、公共施設再配置の理念といえるのか。

答 内閣府で確認したが、問題ないとのことだった。

若者の夢を砕く仕打ち

問 PFI事業に関係する会社に就職が決まったが、市側の弁護士から採用見送りの打診があったが、市長はどんな気持ちで指示したのか。

答 金銭保証しか無いと思った。

最終責任は誰か

問 見直しにより、当初契約より事業費が膨らむ場合の責任は、市民要望の結果というか、自身の責任というのか。

答 簡単には答えづらい。

見直し後も経費は変わらない。

問 事業中止に伴う代替施設の建設費や人件費が多額となることを市長は理解しているか。

答 トータルでは、そうなると思っている。

市長の思う施設しか建設されない。

問 50%以上の要望でも、市民は望んでいないと言うが、見直しの基準は。

答 個人的に自分が聞いた声を総合して判断した。

■ 4月臨時会(4月13日)で審議され、可決した議案等

☆ 西尾市固定資産評価員に宮地将人氏を選任することに同意しました。

★専決処分の承認について
★西尾市市税条例等の一部を改正する条例の制定について
★西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
★工事請負契約について

■ 4月臨時会(4月26日)で審議され、可決した議案等

★工事請負契約について

■ 6月定例会で審議され、可決した議案等

☆ 西尾市人権擁護委員に、山本光子氏、新實八重子氏、高須久美子氏を推薦することに同意しました。

☆ 西尾市公平委員会委員に、名倉洋氏を選任しました。

★西尾市市税条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市母子家庭等医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
★西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
★市道路線の認定について
★損害賠償の額の決定について
★平成30年度西尾市一般会計補正予算(第1号)

■ 6月定例会に出された陳情書

★最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択
★適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択
★すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択
★住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択
★地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択
★沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択
★市議会傍聴者のための託児サービス整備についての陳情書	不採択

■ 賛否の分かれた議案

6月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

「○」…賛成(採択) 「×」…反対(不採択) 「趣旨」…趣旨採択

議案名	議決結果	会派・議員名・表決態度																													
		市民クラブ								至誠クラブ				共産党	公明党	無所属															
		岡田隆司	神谷庄二	小林敏秋	稲垣正明	長谷川敏廣	颯田榮作	鈴木正章	稲垣一夫	鈴木武広	石川伸一	永山英人	松井晋一郎	渡辺信行	本郷照代	松崎隆治	青山勝博	犬飼慶勝	山田慶勝	筒井登	新家喜志男	神谷雅章	磯部雅弘	藤井基夫	黒辺一彦	牧野次郎	前田修	大河内博之	大塚久美子	鈴木規子	中村眞一
最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×
住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×
沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×
市議会傍聴者のための託児サービス整備についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	○	×	×

市議会初の「一般会議」を開催 議員と市民との意見交換の会

去る6月1日夜、「一般会議」が初の試みとして行われました。

「一般会議とは耳慣れない言葉ですが「議会が広く市民の意見を聴く機会」として、「昨年制定された西尾市議会基本条例に設けられたものです。」

直接、各議員の政策や主張が聞けるといいうので全国の多くの議会で開催され好評を博しています。「一般会議」という名称は、議員が議会で行う「一般質問と同じように」「自由に意見交換のできる場」という意味です。

さて、今回は「市民が議会をよく知るための会」の40人の皆さんと議員27人が出席。

あらかじめ提出された3テーマについて、挙手した議員が答える形式で会議を進めました。主なやりとりは次のとおりです。

《公共施設再配置実施計画について》

問 新設や更新は教育や医療保健機能が優先されるべきではないか。全体計画があるべきと思われるがどうか。

小林 機能ばかりの優先ではなく、施設の重複や老朽化を考え、総量抑制を。

鈴木正 耐震性のないものはなくし、1施設複数機能を持たせるべき。

神谷雅 重要なのは地元の元気。当初計画で地域が元気になるだろうか。

前田 当初計画はスポーツ施設ばかりが提案された。市民が言われるのは、全体を見たうえでの順位と思う。

問 市長の見直し方針にどう対応するのか。

石川 自分は契約に賛成した。当初計画通りに進めるべきと思う。

筒井 再配置を当初予定通りに進めるのは反対。賛成議員には論破を求める。

問 20年後のために最低限困らないだけの準備が必要。今だけでなく、しっかり考えたいのでやっていくことが重要ではないのか。

松崎 計画性をもってやるのが重要。

問 公共施設の総床面積を16%削減するということ。進捗の見える化が必要ではないか。

本郷 先進地の神奈川県秦野市では、5分わかる再配置情報を出している。5年位で、市民意見を聞いて見直しを。



黒辺 桑名市は削減率33%という。10年程度で見える化を。市民にわかる形で提言をしていきたい。

《公共施設総合管理計画の進め方》
問 施設を長寿命化しても1千億円が不足という。市民に財政状況を示し、問題を共有化してから進めるべきではないか。

渡辺 インフラやプラント削減は全体をマネージメントする姿勢が必要。

山田 インフラの削減、30年先を見越して今からできるのか。人口減の実態を見て考える必要がある。

《参加者アンケートの結果》

- ◇男性 58%・女性 36%
回収 31件 (10・20・30代各1を含む)
- ◇いかがでしたか?
・良かった 36% ・まあ良かった 45%
- ◇今後も開催を望みますか?
・望む 100%

- ◇自由記載 (23件)
 - ・議員さんを身近に感じ、良かった!
 - ・用意された発言も多く、もっと本音が聞きたかった。
 - ・一般論はわかったが、突っ込んだ意見や具体的な話がほしい。
 - ・テーマを絞って、もっとじっくり聞き、やりとりしたい。
 - ・議事の内容や進行の仕方は、こうした会を継続的に開催することで改良していける。ぜひそうしたい。

◇アンケートは次回への改善や議会への要望としての記載が多くありました。

《市民病院について》

問 18年連続の赤字というが、事業が動き出してからでは遅いので市民の意見を吸い上げて欲しい。市民の総意をどうまとめるのか。

大塚 医療圏の統合を考えていく水面下の交渉が公になった。市民の意見を聴き、見える化が重要。議会報告会は毎年やりたいと思ってる。

犬飼 必要不可欠。市民病院の実態を知ってもらうのが重要。

青山 検討委員会をつくり公表されると思う。地元で報告会を開催したい。

神谷庄 7、8年前に安城更生病院はどうかと提案したが医師派遣に問題がある。自分としては碧南でもよいと思う。

申込者：市民が議会をよく知るための会（40人）
出席議員：鈴木武広議長、長谷川敏廣副議長（司会進行）
青山繁、石川伸一、磯部雅弘、稲垣一夫、稲垣正明、犬飼勝博、大塚久美子、神谷庄二、神谷雅章、黒辺一彦、小林敏秋、颯田栄作、鈴木規子、鈴木正章、筒井登、永山英人、新家喜志男、藤井基夫、本郷照代、前田修、牧野次郎、松井晋一郎、松崎隆治、山田慶勝、渡辺信行（27人／任意参加／敬称略）

問 経営だけ統合することはできないのか。

渡辺 合体、統合、法の全部適用と手段はある。市民が赤字をどこまでなら納得するのかが一つのポイントではないか。救急は年間4千件ある。

《振り返って》

8時終了まで目一杯の2時間でしたが、市民側と議会側の意見が一致したのは市の情報を広報だけではなくもっともっと市民に伝えることが必要。

◎財政面の情報、市民病院についてももっと見える化を。

◎情報の共有で共通認識に立つてこそ市の未来をお互いに語り合える。

西尾市議会一般会議申込書		年 月 日	
(宛先) 西尾市議会議長			
申込団体等名称			
代表者 住所		氏名	
電話番号		電話番号	
西尾市議会一般会議実施要綱第2条第2項の規定に基づき、次のとおり一般会議開催を申し込みます。			
会議の趣旨			
開催希望理由			
第1希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	第2希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
希望日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	第3希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
参加予定人数	人		
※以下は議事記入簿のためご記入不要です。			
出席議員	実印		
開催日時及び開催会場			

◇会議の各議員の発言の詳細は市ホームページをご覧ください。

◇団体で、所定の申込みがあれば、どなたでも参加していただけます。

◇一般会議の申込み、お問合せは議会事務局（Tel 65-2182）までご連絡ください。

9月定例会市議会
開催予定のお知らせ

- 8月30日(木) 本会議(議案上程)
 - 31日(金) 本会議(一般質問)
 - 9月3日(月) 本会議(一般質問)
 - 4日(火) 本会議(予備日)
 - 5日(水) 厚生委員会
 - 6日(木) 文教委員会
 - 10日(月) 経済建設委員会
 - 11日(火) 企画総務委員会
 - 12日(水)・13日(木)
 - 14日(金)・18日(火) 決算特別委員会
 - 27日(木) 本 会 議
- 開会時間は午前10時です。
決算特別委員会は、午前9時開会です。
*本会議は議場
*委員会は第1委員会室
ぜひ傍聴にお越しください。

議会テレビ中継のお知らせ(予定)

- 【放送日】
- 9月4日(火) (8月31日 一般質問)
- 9月5日(水) (9月3日 一般質問)
- ケーブルテレビ「キャッチ」
- デジタル 106CHで放映
- 【放送開始予定時間】
- いずれも18時からです。
- インターネットで議会を見よう
- 西尾市議会ホームページからアクセスできます。
- ぜひご覧ください。

編集室

西尾市議会7月臨時会において、議会人事が行われ、議会だより編集委員の現メンバーも今回をもって入れ替わります。1年間ありがとうございました。本年1月開催の編集委員会において、委員から質問議員名の下にQRコードを付して、議員のインターネット動画に直接リンクできるように、提案があり、早速3月定例会分取り入れました。広報サポーターの方から、一番印象に残ったコーナーとして、「市議会だより」と回答された方の理由は、「QRコードを用いてインターネットで議会を見られるのは面白かった。様々な質問があり、もっと西尾が良くなってほしいと思ったから。」とのこと。編集委員一同大変嬉しく思いました。

- 今後とも、市民の皆さまにわかりやすい議会だよりをお届けできますよう、努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。
- 広報委員**
- ◎長谷川敏廣 ○颯田 栄作
 - 黒辺 一彦 犬飼 勝博
 - 磯部 雅弘 青山 繁
 - 大河内博之 前田 修
 - 稲垣 正明 鈴木 規子
 - (◎委員長、○副委員長)
- 西尾市議会 広報委員会**
- 電話 65-2182
FAX 54-0311

※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

■議場見学をしませんか？ 町内会や老人会の行事、ご家族、ご友人同士でお誘い合わせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局へ電話(Tel 65-2182)でお問い合わせください。